

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年1月19日

【発行者名】 イオンリート投資法人

【代表者の役職氏名】 執行役員 河原 健次

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田錦町一丁目2番地1

【事務連絡者氏名】 イオン・リートマネジメント株式会社
取締役兼財務企画部長 塚原 啓仁

【電話番号】 03-5283-6360

【届出の対象とした募集（売出）内国投資証券に係る投資法人の名称】
イオンリート投資法人

【届出の対象とした募集（売出）内国投資証券の形態及び金額】

形態：投資証券

発行価額の総額：一般募集 17,565,182,222円

売出価額の総額：オーバーアロットメントによる売出し 1,397,005,800円

（注1）発行価額の総額は、平成28年1月6日（水）現在の株式会社東京証券取引所における本投資法人の投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。

但し、今回の募集の方法は、引受人が発行価額にて買取引受けを行い、当該発行価額と異なる価額（発行価格）で一般募集を行うため、一般募集における発行価格の総額は上記の金額とは異なります。

（注2）売出価額の総額は、平成28年1月6日（水）現在の株式会社東京証券取引所における本投資法人の投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。

安定操作に関する事項

1. 今回の募集及び売出しに伴い、本投資法人の発行する上場投資口について、市場価格の動向に応じ必要があるときは、金融商品取引法施行令第20条第1項に規定する安定操作取引が行われる場合があります。
2. 上記の場合に安定操作取引が行われる取引所金融商品市場を開設する金融商品取引所は、株式会社東京証券取引所です。

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成28年1月18日提出の有価証券届出書の記載事項のうち、「第一部 証券情報」に本投資法人の指定する販売先であるイオン株式会社の状況等に関する事項を追加するとともに、「第二部 参照情報／第2 参照書類の補完情報／2 インベストメント・ハイライト」に記載され、また、「第三部 特別情報／第2 その他」で新投資口発行及び投資口売届出目論見書の表紙裏以降に記載事項とされている「<保有商業施設23物件（第5期末時点）エンドテナントの前年同期比売上高推移>」のグラフの作成過程で、平成25年9月から11月に係る数値の誤入力があり、確認が不十分なまま有価証券届出書を提出したことから、かかる数値を修正するため、本有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 証券情報

第1 内国投資証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除く。）

1 募集内国投資証券

(16) その他

① 申込みの方法等

第5 募集又は売出しに関する特別記載事項

第二部 参照情報

第2 参照書類の補完情報

2 インベストメント・ハイライト

(3) 「キャッシュ・フローの安定性」＋「活性化投資による内部成長」の実現

① 長期固定の賃貸借契約とイオングループの運営力の活用

(イ) 保有商業施設の競争優位性を背景としたテナント運営の安定性

第三部 特別情報

第2 その他

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____ 罫で示してあります。

第一部【証券情報】

第1【内国投資証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除く。）】

1【募集内国投資証券】

(16)【その他】

① 申込みの方法等

<訂正前>

(前略)

(オ) 引受人は、本投資法人の指定する販売先として、本資産運用会社の株主であるイオン株式会社に対し、国内一般募集の対象となる本投資口のうち、42,951口を販売する予定です。

<訂正後>

(前略)

(オ) 引受人は、本投資法人の指定する販売先として、本資産運用会社の株主であるイオン株式会社（以下「指定先」ということがあります。）に対し、国内一般募集の対象となる本投資口のうち、42,951口を販売する予定です。

指定先の状況等につきましては、後記「第5 募集又は売出しに関する特別記載事項 / 4 販売先の指定について」をご参照ください。

第5【募集又は売出しに関する特別記載事項】

<訂正前>

(前略)

3 ロックアップについて

- ① 本募集に関連して、イオン株式会社~~に~~、ジョイント・グローバル・コーディネーター及び国内共同主幹事会社に対し、発行価格等決定日に始まり、当該募集の受渡期日から起算して180日目の日に終了する期間中、ジョイント・グローバル・コーディネーター及び国内共同主幹事会社の事前の書面による同意なしには、本投資口の売却等（但し、オーバーアロットメントによる売出しに伴う本投資口の貸渡し等を除きます。）を行わない旨を約していただく予定です。

ジョイント・グローバル・コーディネーター及び国内共同主幹事会社は、上記の期間中であってもその裁量で、当該合意の内容を一部又は全部につき解除できる権限を有する予定です。

(後略)

<訂正後>

(前略)

3 ロックアップについて

- ① 本募集に関連して、イオン株式会社~~は~~、ジョイント・グローバル・コーディネーター及び国内共同主幹事会社に対し、発行価格等決定日に始まり、当該募集の受渡期日から起算して180日目の日に終了する期間中、ジョイント・グローバル・コーディネーター及び国内共同主幹事会社の事前の書面による同意なしには、本投資口の売却等（但し、オーバーアロットメントによる売出しに伴う本投資口の貸渡し等を除きます。）を行わない旨を合意しています。

ジョイント・グローバル・コーディネーター及び国内共同主幹事会社は、上記の期間中であってもその裁量で、当該合意の内容を一部又は全部につき解除できる権限を有しています。

(中略)

4 販売先の指定について

① 指定先の状況

a. 指定先の概要	名称	イオン株式会社		
	本店の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1		
	直近の有価証券報告書等の提出日	有価証券報告書 事業年度 第90期（自平成26年3月1日至平成27年2月28日） 平成27年5月28日 関東財務局長に提出		
		四半期報告書 事業年度 第91期第1四半期（自平成27年3月1日至平成27年5月31日） 平成27年7月15日 関東財務局長に提出		
		四半期報告書 事業年度 第91期第2四半期（自平成27年6月1日至平成27年8月31日） 平成27年10月15日 関東財務局長に提出		
		四半期報告書 事業年度 第91期第3四半期（自平成27年9月1日至平成27年11月30日） 平成28年1月14日 関東財務局長に提出		
b. 本投資法人与指定先との間の関係	出資関係	本投資法人が保有している指定先の株式の数（平成28年1月19日現在）	二	
		指定先が保有している本投資口の数（平成28年1月19日現在）	215,555口	
	人事関係	本投資法人与指定先との間には、人事関係はありません。		
	資金関係	本投資法人は、指定先から借入れをしていません。また、指定先は、本投資法人の借入債務につき、保証及び担保を提供していません。		
	技術又は取引等の関係	本投資法人は、本資産運用会社及び指定先との間で、スポンサーサポート契約を締結しています。また、本投資法人は、指定先との間で、商標使用許諾契約を締結しています。		
c. 指定先の選定理由		本投資法人与指定先との関係に鑑み、本投資法人の投資主の利益と指定先の利益を共通のものにするという観点から、指定先として選定しています。		
d. 販売しようとする本投資口の数		42,951口		
e. 投資口の保有方針		本投資法人及び本資産運用会社は、指定先との間で締結しているスポンサーサポート契約にて、指定先が保有した投資口については、特段の事情がない限り保有を継続する意向であることを確認しています。		
f. 払込みに要する資金等の状況		本投資法人は、指定先が提出済みの前記有価証券報告書等にて、貸借対照表及び連結貸借対照表における現金及び預金を確認することにより、指定先が上記42,951口の払込みに要する資金を有していると判断しています。		
g. 指定先の実態		平成28年1月19日現在、指定先は、東京証券取引所市場第一部に上場しており、反社会的勢力等とは一切関係ない旨の説明を受けており、指定先が反社会的勢力等との関係を有していないものと判断しています。		

② 投資口の譲渡制限

指定先は、国内一般募集に関連して、ロックアップに関する合意をしていますが、その内容につきましては、前記「3 ロックアップについて/①」をご参照ください。

③ 発行条件に関する事項

国内一般募集における本投資口の一部を指定先に販売するものであり、指定先への販売は国内一般募集における発行価格にて行われるため、指定先に対して特に有利な条件には該当しません。

④ 本募集後の主要な投資主の状況

氏名又は名称	住所	所有投資口数 (口)	総議決権数に 対する所有議 決権数の割合 (%)	本募集後の所 有投資口数 (口)	本募集後の総 議決権数に對 する所有議決 権数の割合 (%)
日本トラスティ・サー ビス信託銀行株式会社 (信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番 11号	250,154	22.94	250,154	19.10
イオン株式会社	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁 目5番地1	215,555	19.77	258,506	19.74
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信 託口)	東京都港区浜松町二丁目11番 3号	76,035	6.97	76,035	5.80
資産管理サービス信託 銀行株式会社(証券投 資信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番 12号 晴海アイランドトリトンスク エアオフィスタワーZ棟	75,828	6.95	75,828	5.79
野村信託銀行株式会社 (投信口)	東京都千代田区大手町二丁目 2番2号	40,193	3.68	40,193	3.06
NOMURA BAN K (LUXEMBO URG) S. A.	BATIMENT A, 33, RUE DE GASPERICH, L-5826, LUXEMBOURG	34,275	3.14	34,275	2.61
三井住友信託銀行株式 会社	東京都千代田区丸の内一丁目 4番1号	27,150	2.49	27,150	2.07
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町一丁目 5番5号	20,000	1.83	20,000	1.52
東京センチュリーリー ス株式会社	東京都千代田区神田練堀町3 番地	20,000	1.83	20,000	1.52
株式会社大和証券グ ループ本社	東京都千代田区丸の内一丁目 9番1号	10,902	1.00	10,902	0.83
合計		770,092	70.63	813,043	62.08

(注1) 所有投資口数及び総議決権数に対する所有議決権数の割合は平成27年7月31日現在の数値を記載しています。

(注2) 本募集後の所有投資口数及び本募集後の総議決権数に対する所有議決権数の割合は、平成27年7月31日現在の所有投資口数及び総議決権数に本募集による増加分を加味し、かつ本件第三者割当に対する野村證券株式会社による申込みが全て行われた場合の数値を記載しています。

(注3) 総議決権数に対する所有議決権数の割合及び本募集後の総議決権数に対する所有議決権数の割合は、小数点第3位を切り捨てて記載しています。

⑤ 投資口併合等の予定の有無及び内容

該当事項はありません。

⑥ その他参考になる事項

該当事項はありません。

第二部【参照情報】

第2【参照書類の補完情報】

2 インベストメント・ハイライト

(3) 「キャッシュ・フローの安定性」+「活性化投資による内部成長」の実現

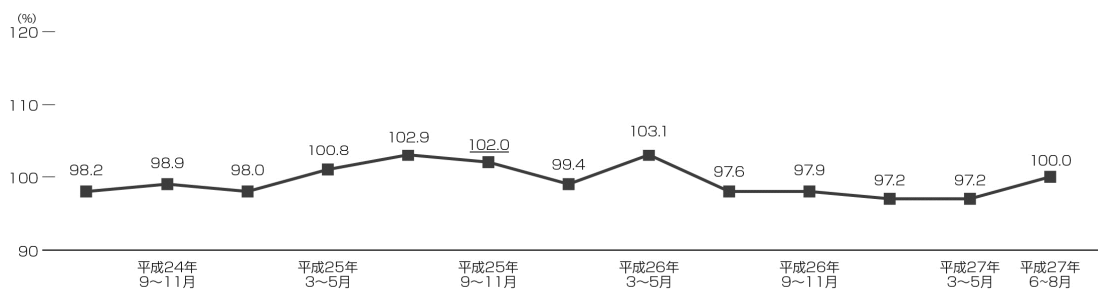
① 長期固定の賃貸借契約とイオングループの運営力の活用

(イ) 保有商業施設の競争優位性を背景としたテナント運営の安定性

<訂正前>

(前略)

<保有商業施設23物件（第5期末時点）エンドテナントの前年同期比売上高推移>

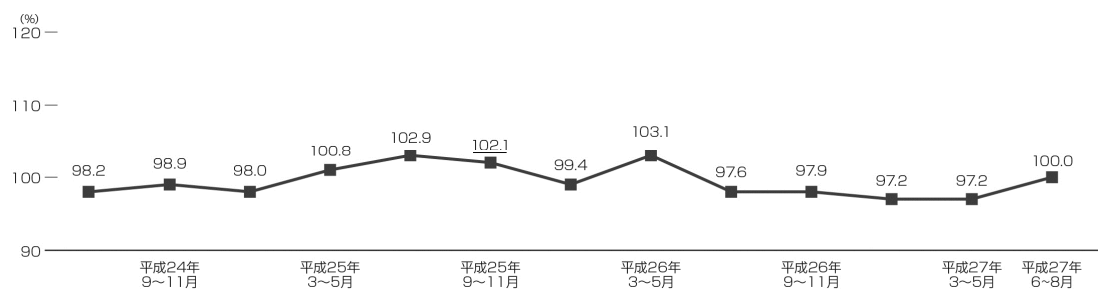


(後略)

<訂正後>

(前略)

<保有商業施設23物件（第5期末時点）エンドテナントの前年同期比売上高推移>



(後略)

第三部【特別情報】

第2【その他】

<訂正前>

(前略)

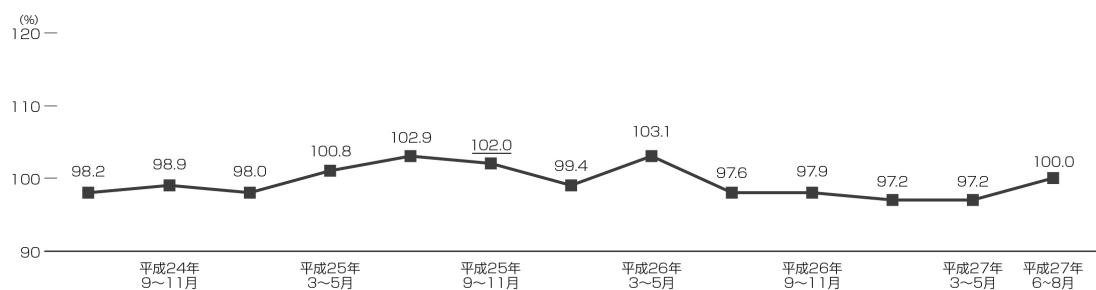
6. 新投資口発行及び投資口売出届出目論見書の表紙裏以降に、以下の内容をカラー印刷して記載します。

(中略)

「キャッシュ・フローの安定性」＋「活性化投資による内部成長」の実現

(中略)

保有商業施設23物件(第5期末時点)
エンドテナントの前年同期比売上高推移



(後略)

<訂正後>

(前略)

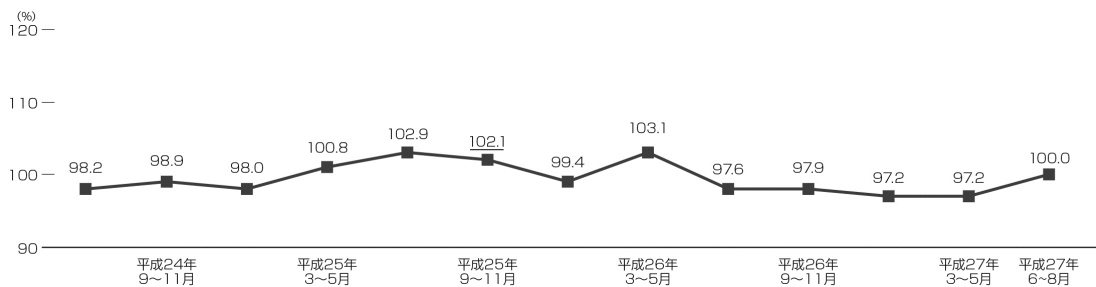
6. 新投資口発行及び投資口売出届出目論見書の表紙裏以降に、以下の内容をカラー印刷して記載します。

(中略)

「キャッシュ・フローの安定性」＋「活性化投資による内部成長」の実現

(中略)

保有商業施設23物件(第5期末時点)
エンドテナントの前年同期比売上高推移



(後略)